

# SONA KOYO STEERING SYSTEMS LTD.

## - ソナコーヨーステアリングシステムズ, SONA -

### 1. 会社概要

社名：SONA KOYO STEERING SYSTEMS LTD.

所在地：インド デリー郊外

本社・グルガオン工場；ハリヤナ州，グルガオン市

チェンナイ工場；タミールナドゥ州，チェンナイ郊外

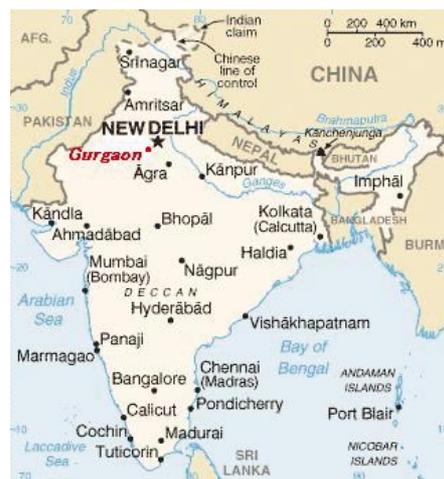
設立：1984年

資本金：88百万インドルピー

株式：光洋精工株式会社 = 20.5%  
マルチ・ウドゥヨグ社 = 7%

従業員：497人(内，光洋駐在員3名)

業種：ステアリングシステムおよびアクセル，プロペラシャフト等，自動車部品の製造・販売



### 2. 地域の紹介

#### 2.1 デリー市と北部インド

デリーは北緯約28度，ほぼ奄美大島と同じ緯度で，北部インドの政治・文化の中心地です。海拔は約240メートル，ガンジス川支流のヤムナ川流域西部に広がる平野にあり，ウッタル・プラデッシュ州と，ハリヤナ州に挟まれています。

面積は約1 480平米，海拔240メートル。

人口は約1 380万人でムンバイ(旧ボンベイ)市に次いで2番目の大都市です。

デリーはムガル帝国以前からしばしば歴代王朝の都とされてきましたが，1930年代にイギリス人がこのデリーの南に新しいイギリス式の計画都市を建設してこの新しい地域をニューデリーと呼ぶようになりました。それまでのデリーはオールドデリーと呼ばれており，一般にデリーという場合は，両方を指す場合が多いようです。

デリーの観光スポットはたくさんあり，インド門や，ムガル帝国以前に造られたクトゥブ・ミナールの遺跡や，ムガル王朝時代のレッド・フォート(ラール・キラ)等があります。



インド門とクトゥブ・ミナール



ラール・キラ (Red Fort)

## 2.2 インドの歴史，ムガル帝国

インドは、釈迦仏教の発祥地(紀元前5世紀頃)であることはよく知られていますが、仏教はカニシカ王(紀元前130 - 158)時代に繁栄したのを最後に、異教徒に圧迫され7世紀には消滅しました。

8世紀以降、イスラム帝国がインド北部に侵入し、仏教徒の寺院などが破壊されてしまいました。

このため、仏教興隆時代の遺跡は少なく、ガンダーラやナーガールジュナコンダの仏教美術、アジャンターの第十窟や後期石窟などは有名です。

その後、広大なインド亜大陸の各地に王朝が興っては消滅する混沌の時代が続きましたが、15世紀、中央アジアからティムールの子孫であるバーブルが西北インドに侵入し、1526年にパーニパット(デリー北部)の戦いに勝利し、デリーを占領してムガル帝国(1526 ~ 1858)を建国しました。ムガル(Mughal)はモンゴル(Mongol)のなまったものだそうです。

ムガル帝国第3代皇帝アクバル(在位1556 ~ 1605)は、ヒンドゥー教徒ラージプート族の王女を王妃に迎えて、抵抗勢力のヒンドゥー教徒との融和策をとり、ムガル王朝繁栄の基礎を築きました。この時代の文化・遺跡が各地に数多く残っています。また、彼は都をアグラ(デリーの東南東、約200km)に遷都しました。

第5代皇帝のシャー・ジャハーン(在位1628 ~ 1658)は学者・文人達を保護したので、ムガル文化は大いに栄え、最盛期を迎えました。

特に彼が、愛妃ムムターズ(愛称タージ)を偲んでアグラに造営したタージ・マハル廟は世界各地の宝石をちりばめた白大理石のイスラム建築で、世界で最も美しい建築の一つとして有名です。



タージ・マハル

晩年、彼が病にかかると帝位継承争いが起こり、彼は第3子のアウラングゼーブによってアグラ城に幽閉されてしまいます。ここから愛妃ムムター

ズが眠るタージ・マハルを毎日眺めながら暮らしたそうで、死後、この父を悼んだ娘が彼の棺を愛妻の棺の横に並べて葬った、という物語は今も語り継がれています。

## 3. 会社の紹介

### 3.1 沿革

- 1985年 会社設立「SONA STEERING SYSTEMS LTD.」
- 1985年 光洋精工(株)とライセンス契約締結
- 1987年 B S マニュアルステアリングの生産開始
- 1992年 光洋精工(株)が資本参加(シェア8%)
- 1992年 光洋とパワーステアリングの技援契約
- 1997年 光洋出資比率20.5%
- 1998年 「SONA KOYO STEERING SYSTEMS LTD.」に
- 2000年 QS - 9000, ISO9001認証取得(独TUV)
- 2002年 ISO14001認証取得
- 2003年 デミング賞受賞

### 3.2 グルガオン工場

SONA KOYOのグルガオン工場はデリー市の南南西、約40kmに位置し、ハリヤナ(Haryana)州グルガオン市の南部、国道8号線沿い東側にあります。途中、SONA本社が入居しているDLFのオフィスビルがあり、そこからSONAの最大の顧客であるマルチ社(スズキ)を見渡すことができます。



グルガオン工場



DLFビル(SONA本社)

近くには自動車部品メーカーがたくさんある工業団地もあります。

国道8号線は、田園風景の中をラジャスタン州ジャイプールに向って延びており、沿線には小さなホテルやレストラン、露天商などが点在しています。しかし、デリー同様、車の交通量が激しく夕方のラッシュ時は大渋滞です。そんな中でも、神様の牛、荷役のラクダや馬車、豚、時には象も、歩行者もひしめき合って道路を通行しています。

しかし、DLFシティと呼ばれる地域では土地開発が進み、ここ数年、高層マンションが次々と建設されており、また、デリー＝グルガオン間の道路拡幅工事が開始され、スピードは遅いですがグルガオン市はデリーの衛星都市として大きく変貌しようとしています。

このような環境の中、SONAはステアリングシステムのメーカーとして成長し、2000年以降年間約20億ルピー(約50億円)以上売上げており、国内市場の約半分のシェアとなっています。

そして、輸出にも力を入れており、カプール会長を先頭に、更に飛躍してインドの世界的企業となるべく、関係者一同がんばっております。

(SONA 秋山由孝)